

## 村絵図から復元する江戸時代の山田村①

岡垣歴史文化研究会 石田 健次

「遠賀郡山田村繪圖面」と書かれた、山田村の全景が描かれた村絵図が山田区に残されている。絵図の大きさは、110×85センチメートルである。

このほかには、糠塚村と原村の村絵図が岡垣町文化財展示・資料室に保存されている。この3枚の村絵図は、方位を示す方法、立体的な山並み、集落の人家の描き方や道、田畑、ため池などの彩色が同じである。このことから、これらの絵図は、同時期に専門の絵師によって作成されたものと思われる。

この「村絵図」という名称は、村の全景観を表現した絵図に多く見られる。絵図は、一般的にはその作成目的が分かる関係文書と一対になっていることが多い。しかし、この3枚の村絵図にはそれが残っていないため、何のために作成されたのかは分からない。

この「山田村繪圖面」の山田村とは、現在の「大字山田」の地域で、行政区は山田、東山田、西山田、南山田、山田峠、茅原、高陽、西

高陽、東松原、百合ヶ丘、鍋田、緑ヶ丘、旭南、旭中、旭西の15区が該当する。これらの地域は、絵図に描かれている山々を開発・造成して作られてきたものである。

この絵図には作成年が書かれていないが、ため池の築造年の記録から、江戸時代に作成されたことが分かる。山間に開けた山田本村内の集落・道の様子及び村人の日常生活に深く関係する寺社・祠の位置などを知ることができる。

絵図は彩色されており、山々や樹木は緑色、田畑は黄色または白色、道は黄色、川・ため池は青色が使われている。江戸時代の山田村の景観を知る手がかりとして貴重な資料である。

絵図には次の事蹟が描かれている。

- 方位図
- 集落(人家)
  - 本村38戸
  - 茅原4戸
  - 御米蔵
  - 唐津街道
  - 村内の道

○街道松並木

○一里塚

○矢矧川

○用水路

○寺社・祠

浄土宗宝樹院

地藏堂

大日堂

氏森宮

(末社) 祇園社

稻荷社

氏守八幡宮

阿弥陀堂

豊前坊

薬師堂

妙見宮

貴船社

福地宮

○ため池

長原堤

なべた堤

山ノ後堤(現在の

一丁溜池)

茅原堤

次回から2回にわたって、絵図上に描かれたこれらの事蹟を基に、

江戸時代における山田村の景観を復元する。



▲遠賀郡山田村繪圖面

【おわびと訂正】 6月25日号に掲載した新岡垣風土記の内容に誤りがありました。おわびして、訂正します。  
 正：岡垣歴史文化研究会を1976年(昭和51年)4月に発足させた。  
 誤：岡垣歴史文化研究会を1968年(昭和43年)11月に発足させた。